

# 「暮らしの保健室」に通う方に がんがみつかった 事例に学ぶ

日時:2019年12月10日(火)13:00-15:00

場所:三重大学医学部 看護学科第3講義室

講師:秋山正子 氏

(株)ケアーズ 白十字訪問看護ステーション 統括所長, 暮らしの保健室 室長  
NPO法人maggie's tokyo 共同代表・センター長

「住み慣れた家で、地域で、最期まで暮らしたい…」その願いを実現するために、どのような医療や介護が受けられるのでしょうか。今回は、普段のちょっとした困りごとから暮らしの保健室とつながり、ご夫婦で食事会やイベントに参加していた80代後半の方の事例に学びます。普段から暮らしの保健室にいられていた方ががんがみつかりました。病気がわかったあとも、自分で選び、自分で決めることをしていました。自宅で看取りをされた妻は「ありえないくらいいい最期だった」と話されました。いったい何があったのでしょうか。その時その時、ご自分で決断し、「こうしたい」というご本人の意思を支えたものは何だったのでしょうか。改めて、暮らしの保健室について、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)について学びを深めたいと思います。

## <講師プロフィール>

秋田県出身。1973年聖路加看護大学卒業。産婦人科病棟にて臨床経験後、看護教育に従事。1992年より訪問看護に携わる。2001年株式会社ケアーズ設立。白十字訪問看護ステーション・白十字ヘルパーステーション統括所長として現場を訪問する傍ら、介護サービス事業者協会や地域看護業務連絡会の委員を務める。また看護学部非常勤務講師、30年後の医療の姿を考える会会長、NPO法人白十字在宅ボランティアの会理事長。

著書に「在宅ケアの不思議な力」「在宅ケアのつながる力」「つながる・つくりだす・ささえる在宅現場の地域包括ケア」(医学書院)など。患者や高齢者または、障がい者など社会的に不利な立場にあり、援助を必要としている方々のケアのために特別な努力をされた人に贈られるHealth Society 賞受賞(平成23年度)。フローレンス・ナイチンゲール記章受章(令和元年)

参加費:無料 (三重大学:近鉄江戸橋駅より徒歩15分、近鉄津駅よりタクシー10分)

申し込み方法: お問い合わせ先へe-mailでお願いします。(所属、氏名を明記)

\* 資料準備の関係上、事前に申し込みをしてください。

お問い合わせ:三重大学大学院医学系研究科看護学専攻がん看護学分野(坂口美和)

e-mail miwasaka@nurse.medic.mie-u.ac.jp